

## 2024年 第37週（9月9日～9月15日）の感染症発生動向調査情報

### <今週の内容>

- 1 新型コロナウイルス感染症について
- 2 管内の感染症発生状況（新型コロナ以外のもの）

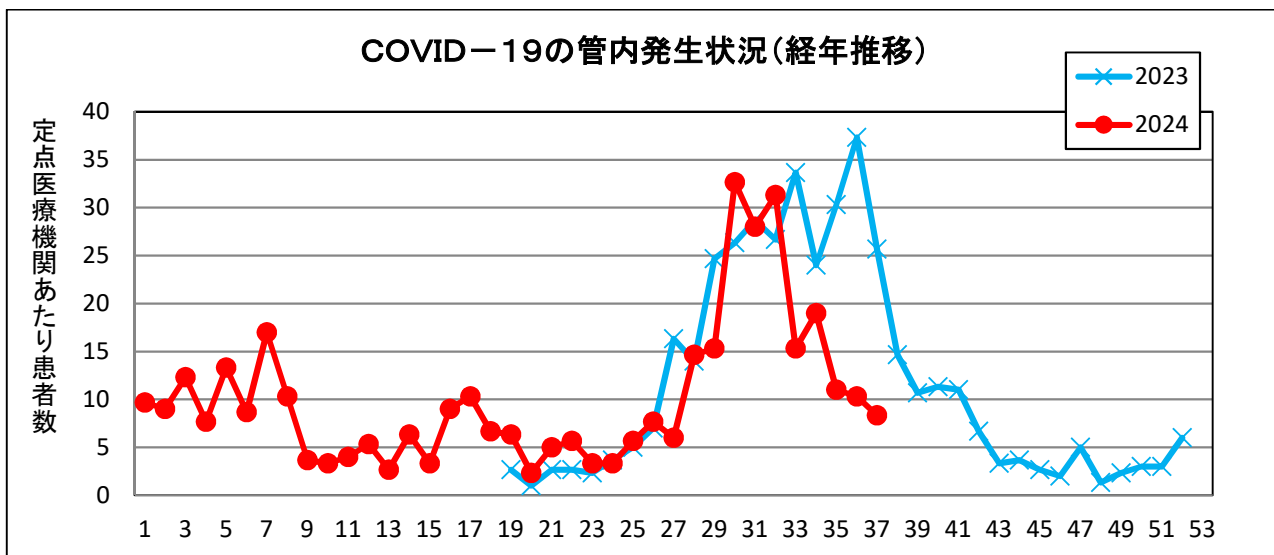
咽頭結膜熱、手足口病は、依然、警報レベルとなっています。

#### 1 新型コロナウイルス感染症について

管内では、定点あたり報告数は今週8.33人（先週10.33人）で先週から減少し、兵庫県内の定点あたり報告数も今週3.11人（先週4.20人）となり、先週から減少しました。地域別では、当所管内が8.33人と最も多く、赤穂保健所管内6.17人、加古川保健所管内5.00人となっており、年齢別では、10歳代が23%と最も多く、次いで80歳以上が11%となっています。

また、県内の社会福祉施設等においては、今週3件（先週4件）の集団発生が報告されています。

県民の皆様には引き続き3密の回避、手指消毒、効果的な換気、マスクの適切な着用といった基本的な感染症対策をお願いします。



注) 2023年5月8日から新型コロナウイルス感染症は定点把握になりました。

### <感染症に関する情報>

#### ◆兵庫県ホームページ

[新型コロナウイルス感染症\(COVID-19\)に関する情報](#)

[兵庫県感染症情報センター](#)

#### ◆厚生労働省ホームページ

[新型コロナウイルス感染症について](#)

#### ◆国立感染症研究所ホームページ

[新型コロナウイルス\(COVID-19\)関連情報ページ](#)

#### 2 管内の感染症発生状況（新型コロナ以外のもの）

(1) 管内の全数把握感染症（すべての医療機関から報告を求める感染症）

第37週は、ウイルス性肝炎（EBウイルス）が1件報告されました。

(2) 定点把握感染症（指定された医療機関から報告を求める感染症）

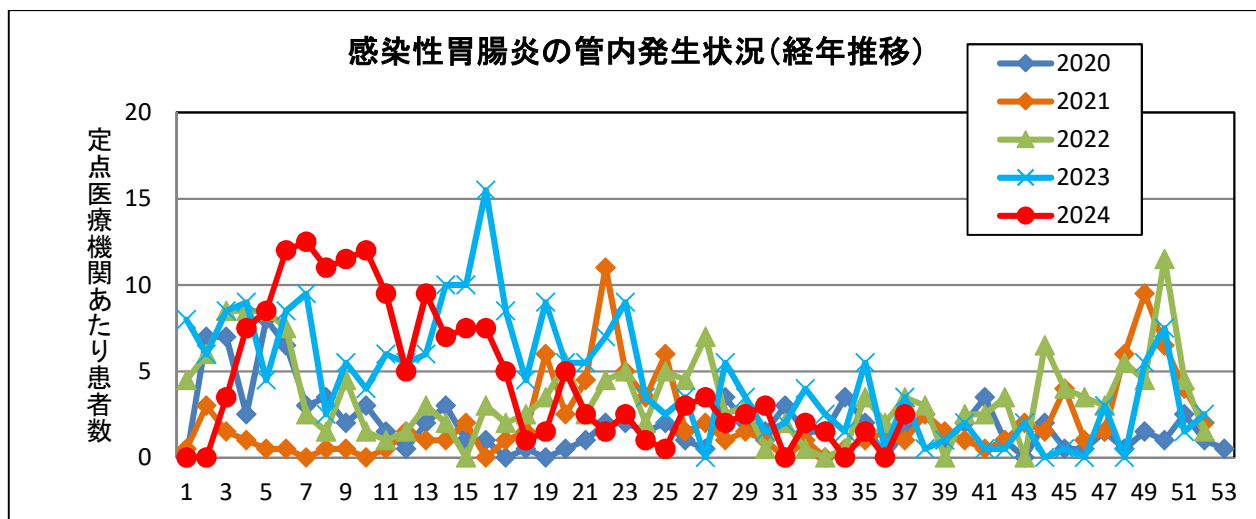
（2024年37週）※定当：定点あたり患者数

インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		COVID-19			
報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当		
3	1	-	-	3	1.5	-	-	5	2.5	-	-	4	2	2	2	1	1	0.5	25	8.33	

ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎		感染性胃腸炎4(ロタウイルス)	
報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当
1	0.5	1	0.5	...	...	...	...	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-

管内では、感染性胃腸炎の定点あたり患者数が2.50人で、先週（0人）から増加し、兵庫県でも4.02人で、先週（3.60人）から増加しました。

トイレの後や、調理・食事の前には、石けんと流水で十分に手を洗うようにしてください。また、便や嘔吐物を処理する際は、使い捨て手袋、マスク、エプロンを着用し、処理後は石けんと流水で十分に手を洗ってください。カキなどの二枚貝を調理する際は、中心部まで十分に加熱してください。



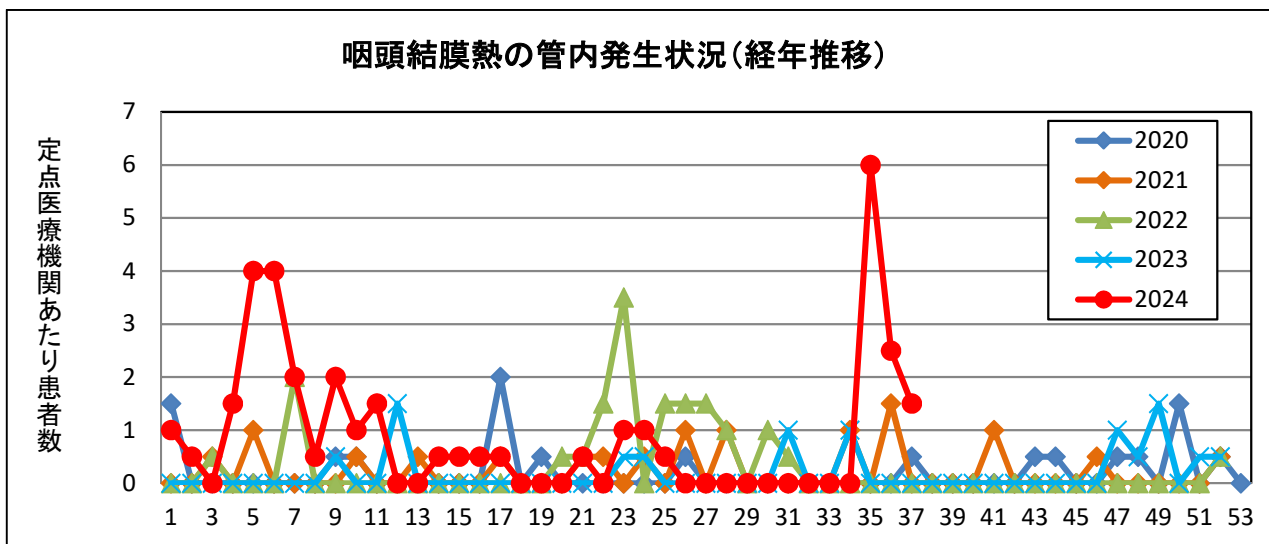
<感染症に関する情報>

- ◆兵庫県ホームページ  
[感染性胃腸炎\(ノロウイルス等\)について](#)
- ◆国立感染症研究所ホームページ  
[感染性胃腸炎とは](#)

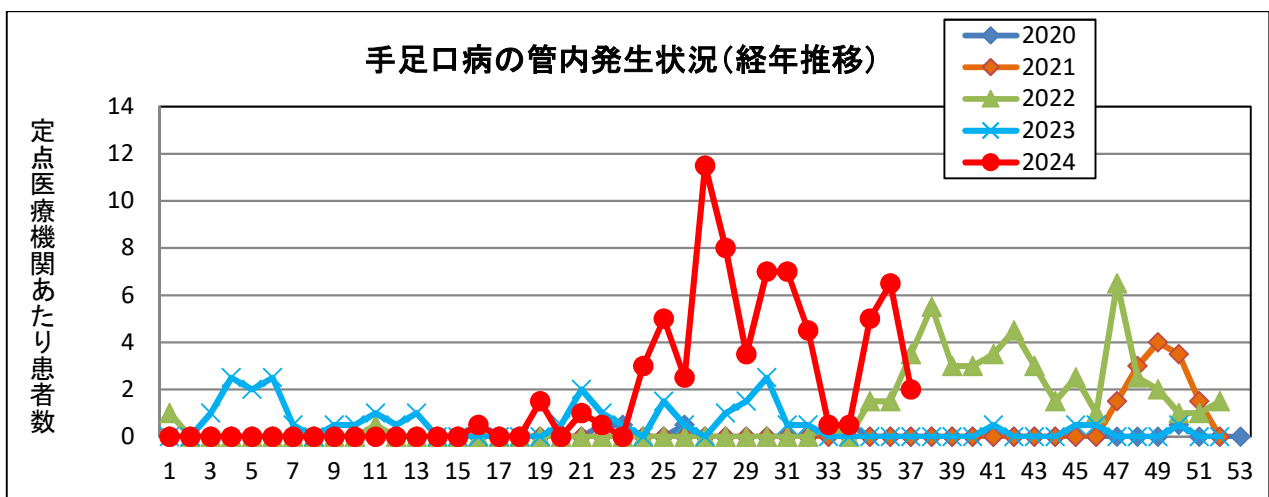
また、管内の咽頭結膜熱の定点あたり患者数は1.50人で、先週（2.50人）から減少しましたが、終息基準値（1.00人）以上であり、依然、警報レベルとなっています。兵庫県でも0.19人で、先週（0.20人）から減少しました。咽頭結膜熱は通常夏期に流行し、多くは飛沫感染、あるいは手指を介した接触感染であり、結膜あるいは上気道からの感染により拡大します。流行時には、流水とせっけんによる手洗い、うがいを励行し、タオルは別に使うなど、感染者との密接な接触を避けるようにしましょう。

<感染症に関する情報>

- ◆兵庫県ホームページ  
[咽頭結膜熱\(プール熱\)の流行に注意してください](#)
- ◆国立感染症研究所ホームページ  
[咽頭結膜熱とは](#)



また、管内の手足口病の定点あたり患者数は 2.00 人で、先週 (6.50 人) から減少しましたが、終息基準値 (2.00 人) 以上であり、依然、警報レベルとなっています。兵庫県では 6.95 人で、先週 (6.65 人) から増加しました。手足口病は、手のひら、足の裏、口の中、おしりなどに米粒大の小さなもりあがった発疹が見られます (1 週間程度で治ります)。ときには手や足の甲にも出ることがあります。よだれも増え、37~38℃の発熱が 1~3 日程度続くことがあります。手足口病のウイルスは、おもに便や鼻汁などの分泌物のなかにおり、手を介して口に入ることで感染するので、用便の後などはきちんと手洗いすることが大切です。



<感染症に関する情報>

◆兵庫県ホームページ

[夏の感染症にご注意を!](#)

◆厚生労働省ホームページ

[手足口病に関する Q&A](#)

◆国立感染症研究所ホームページ

[手足口病とは](#)